

コードカンパニー

CHORDTM
COMPANY

グラウンドアレイ

GroundARRAY

ノイズポンプ プラグ



本カタログの写真はプロトタイプを撮影したものです。
製品版では若干の外観変更がありますので、ご了承ください。

英国コードカンパニーの通称「ノイズポンププラグ」 GroundARRAY(グラウンドアレイ)を発売



- 重さ：約 58g
 - サイズ：長さ × 直径 = 約 97mm × 約 20mm (端子部分を除く)
- (上記の数値はプロトタイプのもので、製品版では若干変更される場合がございますので、ご了承ください。)

概説

英国のオーディオケーブルメーカー CHORD COMPANY (コードカンパニー) は、新製品「GroundARRAY (グラウンドアレイ)」を発売(※)いたしました。

本製品は機器の空き端子 (使用されていない端子) に挿すことで内部に渦巻く高周波ノイズを吸収し、熱エネルギーに変換・発散します。

同社は長年、機器間を繋ぐ回路 (= ケーブル) を高周波ノイズの影響から守る対策をしてきました。この中で誕生した技術がアレイテクノロジーです。グラウンドアレイはこれを応用し、機器内部に発生・侵入・蓄積するノイズの除去専用の製品として開発されました。

様々な端子のラインナップでオーディオのみならず、映像の分野にも大きく貢献いたします。また、お使いの機器や使用状況によって、

- ・どのコンポーネントに差すか
 - ・どの端子に差すか
- 等の違いもお楽しみいただけます。

◎ 試聴用としてのお貸出しも承っております。ぜひご利用ください ◎

ノイズの正体と発生源

オーディオ・映像の分野に限らず、どんな機器も周囲に渦巻く電気的なノイズの影響を受けています。ケーブルの場合は、機器に繋ぐことで外部のノイズを拾うアンテナとなり、機器内部へ伝えてしまう危険性があります。

ノイズにも種類があります。人間の可聴帯域で普通にノイズとして聴こえるもの、例えば「ブーン」といったハムノイズ(主に 50・60Hz の低周波な電氣的ノイズ/以下、低周波ノイズ)の対策をすると気持ち良く音楽再生ができることは、特にレコードリスナーの方はご存じのことと思います。

しかし、近年急激に進歩しているデジタルの世界は、低周波ノイズ(ハムノイズ)とは別次元に強力なノイズをもたらしました。それは、今や私たちの生活に欠かせない **携帯電話・スマートフォン・Wi-Fi・Bluetooth・LED の照明機器・スイッチング電源** など、様々な電子機器が発する**高周波な電氣的ノイズ**(以下、高周波ノイズ)です。

高周波ノイズが厄介なのは、身の回りに溢れていることと同時に、その性質です。「ジッター」等、電子機器の動作上に様々な悪影響を起こし、音楽・映像情報を著しく損傷させているのです。「ブーン」と聞こえるハムノイズと違い、遙かに可聴帯域を越える(例:Wi-Fi は 2.4GHz)ノイズの影響を、普通の生活では理解しにくいかもしれません。しかし実例を挙げると、旅客機の離着陸時に携帯電話の電源を切る、あるいは電波オフモードに設定するのも、高周波ノイズによる運行機器の誤作動(高度計が狂う等)を防ぐためです。それだけの影響力を持つノイズが、非常に繊細な情報を扱うオーディオ・映像機器に無関係な「はずがない」のです。

コードカンパニーでは、高周波ノイズが音楽・映像信号に与える影響を世界に先駆けて発見し、長年研究を続けてきました。そして、低周波ノイズ(ハムノイズ)と高周波ノイズの両方をシールド(防御)するケーブルの設計を積極的に採用してきました。しかし、もっと困るのはそれだけの対策を施しても、実は

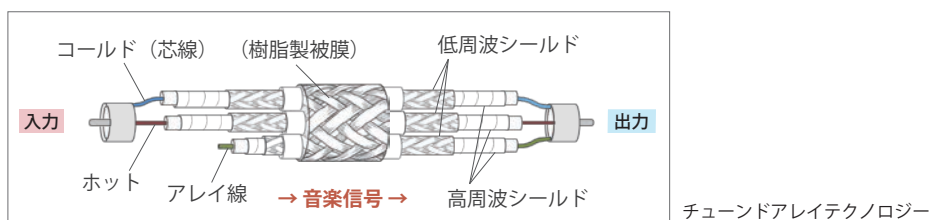
高周波ノイズの発生源がオーディオ・映像機器の内部にも存在している

ということです。

機器自身が動作することにより、ノイズが内部で発生。しかもそれが自身だけでなく、他の機器にも電源やアースを介して互いに悪影響を与えているのです。

これまで蓄積した独自技術を応用

研究を進めた結果、高周波ノイズを減衰させる手法を見出しました。これは、コードカンパニーが以前から採用してきたケーブルの構造でこそ実現できる技術であり、これを「チューンドアレイ」と命名、2012年に発売いたしました。今回の「グラウンドアレイ」はこの「チューンドアレイ(下図参照)」のノウハウを用い、**ノイズ対策専用の製品として開発したものです**。市場ではすでにノイズ対策アクセサリが様々なアプローチで展開されていますが、私たちはこれまで蓄積した独自技術を応用する形で2017年に開発に着手しました。そして2年以上の研究期間を経て、この「グラウンドアレイ」が誕生したのです。



内部には電氣的にパッシブ(受け身)な5つの素子がグラウンドにのみ作用する形で組み込まれており、各々異なる帯域を受け持って効率的にノイズを吸収します。そして吸収したノイズを熱に変換することで発散する、というのが基本的な原理です。ケースには切削のアルミニウムを採用しています。これは内部のシールドと共に外部の高周波ノイズから素子を (続く➡)



守っており、グラウンドアレイ自体がノイズを拾うアンテナとならないよう防止しています。また、ケース内は振動減衰に優れた素材で満たされており、共鳴対策も万全です。これら振動・ノイズ対策のレベルはコードカンパニーの最高峰ケーブル「コードミュージック」と同等のもので、熟練の職人によって非常に精密に製作されています。

また同時に軽量設計にも配慮しており、接続部分の力学的負担は一般的なケーブルを接続した際と同程度に収められています。

アレイ技術の効果は各パーツのクオリティや組付け精度に大きく左右されます。グラウンドアレイは長年にわたる高周波対策とアレイ技術の蓄積があってこそ、誕生したのです。

使用方法

コンポーネントの空き端子に挿すだけでセット完了です。アナログ機器やデジタル機器を問わず、またオーディオにも、映像の分野にも、分け隔てなくご使用いただけます。

まずは CD プレイヤー等、ソース機器の出力端子への接続をお勧めします。ストリーミングをご利用の方は、スイッチングハブがあらゆるオーディオ機器の中で特にノイズに溢れていることを念頭に、接続場所を検討してください。

基本的にはステレオアンプの場合でもどちらかのチャンネルに挿すだけで充分ですが、左右両チャンネルに挿すとより効果的な場合もあります（機器内部の回路によって異なります）。また複数を各々別の機器に接続した場合も、効果的にノイズを吸収いたします。その他 DAC、ストリーミング機器、プロジェクターやテレビ等の映像機器に使用した場合にも、改善が見られるでしょう。様々なシチュエーションでお試しく下さい。

ラインナップ

¥ 88,000 (各端子共通)



上記の他、HDMI・USB-A・BNC仕様を含む全 **7種類** のラインナップ